

# お寺の森での環境学習

-生物多様性についての学びとその保全-

フィールドソサイエティ

# 発表項目

## ■ 生物多様性についての学びとその保全

はじめに

1. 活動フィールドとしての身近な森
2. お寺の森での環境学習活動
3. 生きものたちが教えてくれたこと
4. 生物多様性の保全を考える
5. 次の世代へつなげよう

# フィールドソサイエティー

様々な環境学習活動を展開するとともに、法然院森のセンターを運営している。身近な森での学びを通して生きものの多様性に目を向け、地域の自然環境の保全と活用を目指す。

## 身近な自然(里山や寺社の森)

### お寺と市民の二人三脚の活動

お寺という場を開き、市民と協働した活動  
「法然院森の教室」(1985年)から  
フィールドソサイエティー(1993年)に発展  
→ 人と人、人と生きもののがであう場  
「親しみ・知る・行動する」活動

### 活動のビジョン

- (体験) 自然環境を体験的に学ぶ
- (保全) 観察や調査、手入れ活動を通して  
生きものの生息環境や森林文化を守る
- (協働) 多様な人々の参加とつながりによって  
環境学習活動を広げる
- (創造) 地域の自然の魅力を知る機会を提供し  
地域環境を守る工夫や行動を  
人々と共に創出する
- (共感) 生きものの営みへの共感を通して  
自然・環境に配慮した暮らしの実践を  
世代を超えて広げる

助成事業、賛助会員によるサポート  
会誌、出版物、HPで活動を社会へ発信

法然院森の  
センター

## 多様なネットワークの構築

自然環境の多様な  
機能を維持・活用

### 生物多様性に貢献する活動

- ・観察の森づくり(森の再生活動を含む)
- ・自然観察会の継続(生きものの視点を学ぶ)
- ・動物園ラボプロジェクト  
(京都市動物園と協働し、森の動物を調査)

### おもな成果

- ・森の現状を理解し、生きものに配慮しながら  
必要な手入れを、世代や地域を超えて  
取り組むことができた
- ・植物、動物、菌類、地質などを継続して観察し  
生きもの同士のネットワーク、土壌や水の  
重要性などを学習できた
- ・レッドリストにある生きものも記録され、  
森林生態系の健全性を測る指標が得られた
- ・動物園と連携することによって  
地域社会に身近な森の魅力をアピールできた

身近な森の公益性を高め、  
社会全体で生物多様性を保全することにつながる  
活動を継続したい

### 活動体制の継承が課題



# 身近な森は生きもののサンクチュアリー

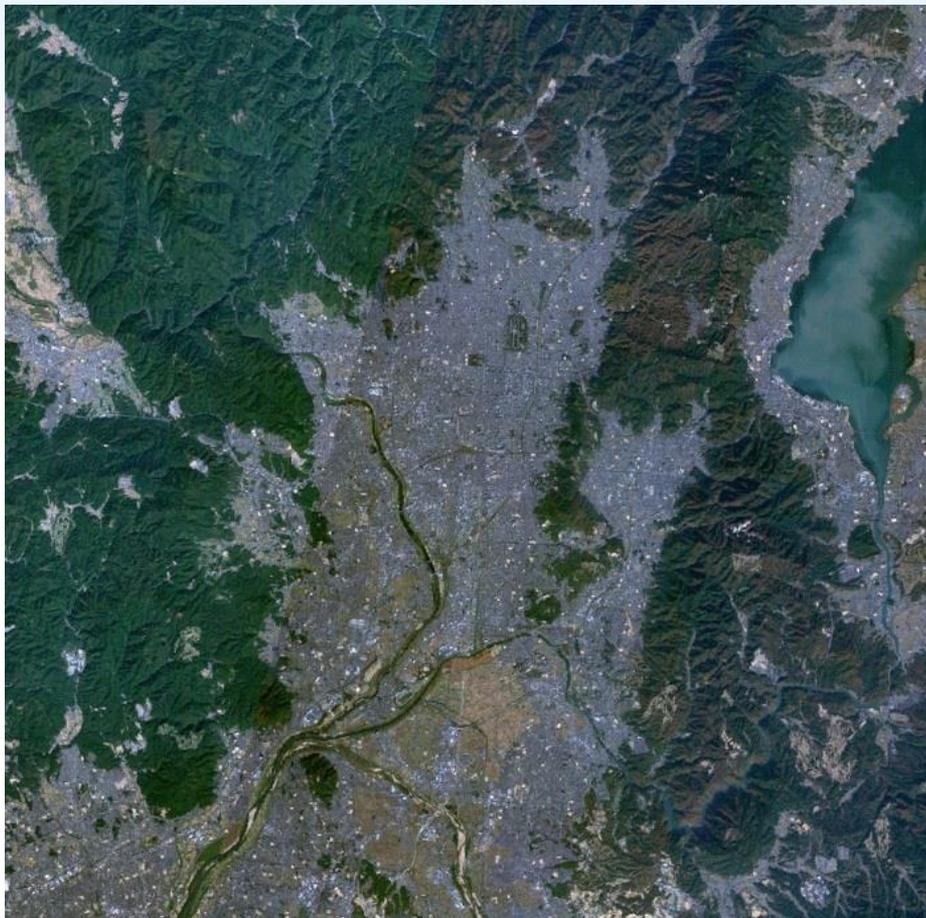


大文字山 善気山の森

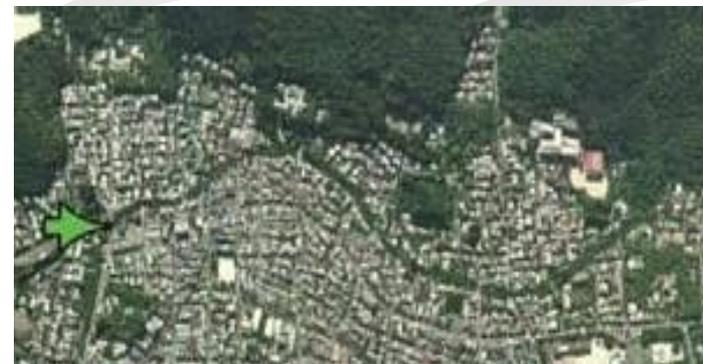


法然院

# 身近な森を俯瞰する

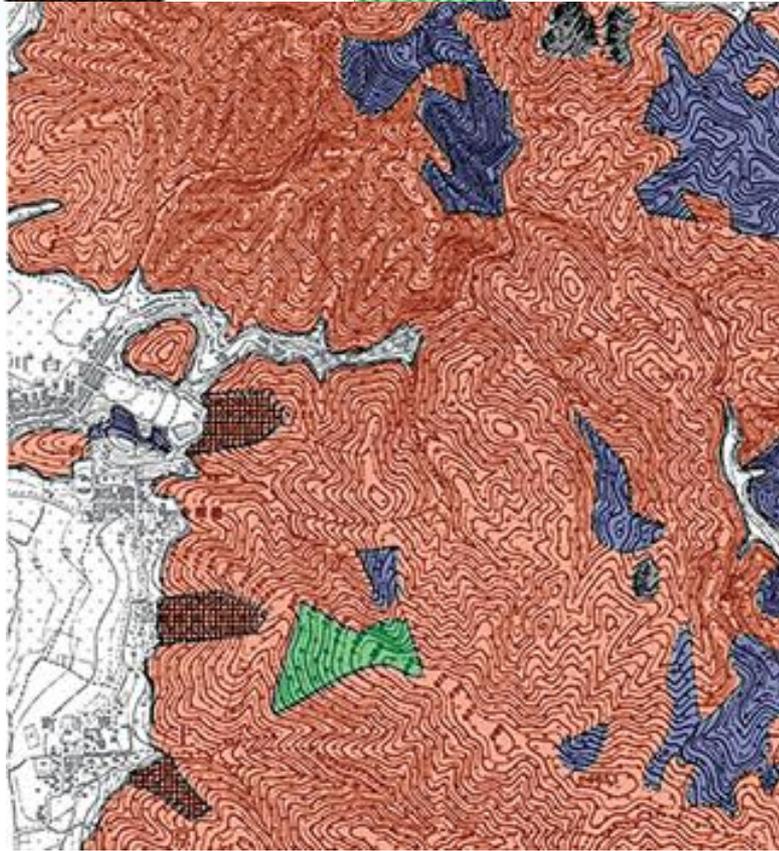
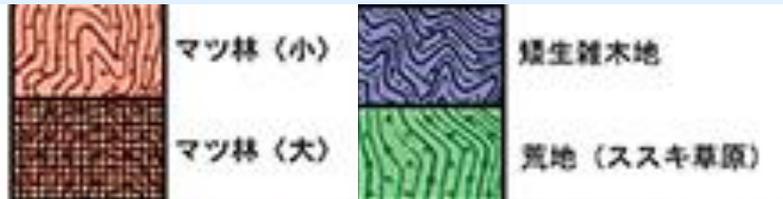


京都盆地



哲学の道

# 身近な森の植生景観(明治中期)



東山の植生図

(京都府レッドデータブック2015・自然生態系)



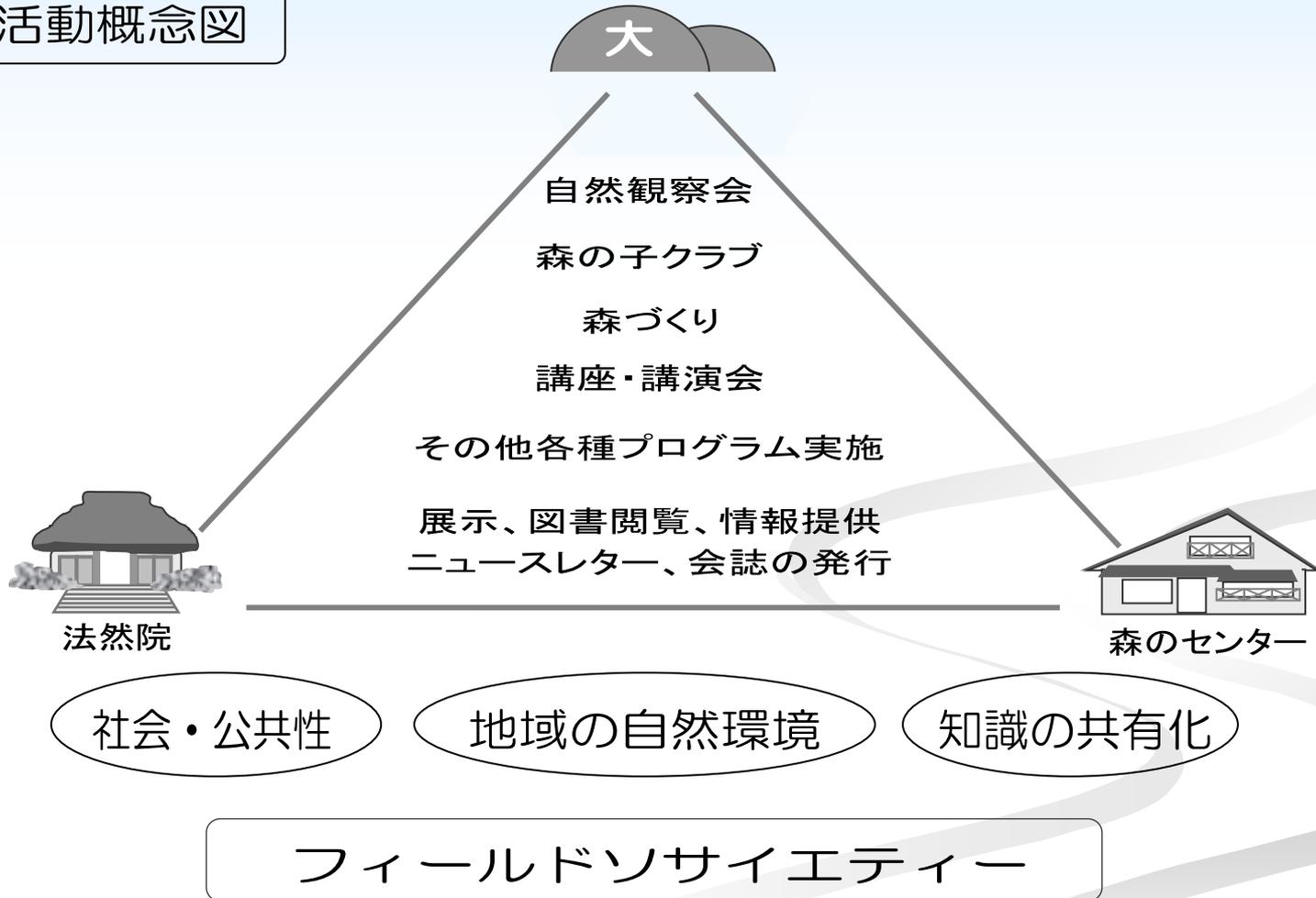
## 永観堂(禅林寺)の裏手

琵琶湖疏水工事写真帖 1890年頃  
地形図(植生)で「大松林」とある場所

写真の隧道の内径(約2.4m)と比較すると  
20m前後もある高木が見える  
マツばかりではなく、広葉樹も見える

# フィールドを活かす

活動概念図



# 法然院森のセンター(共生き堂)



- ・環境学習センターとして地域に開かれた場
- ・「縁」の思想(人と人、人と生きもののであう場)
- ・市民活動、地域の環境保全の拠り所



# 森のセンターの機能



ビジターセンター  
(ギャラリー展示、ガイド)



学習会

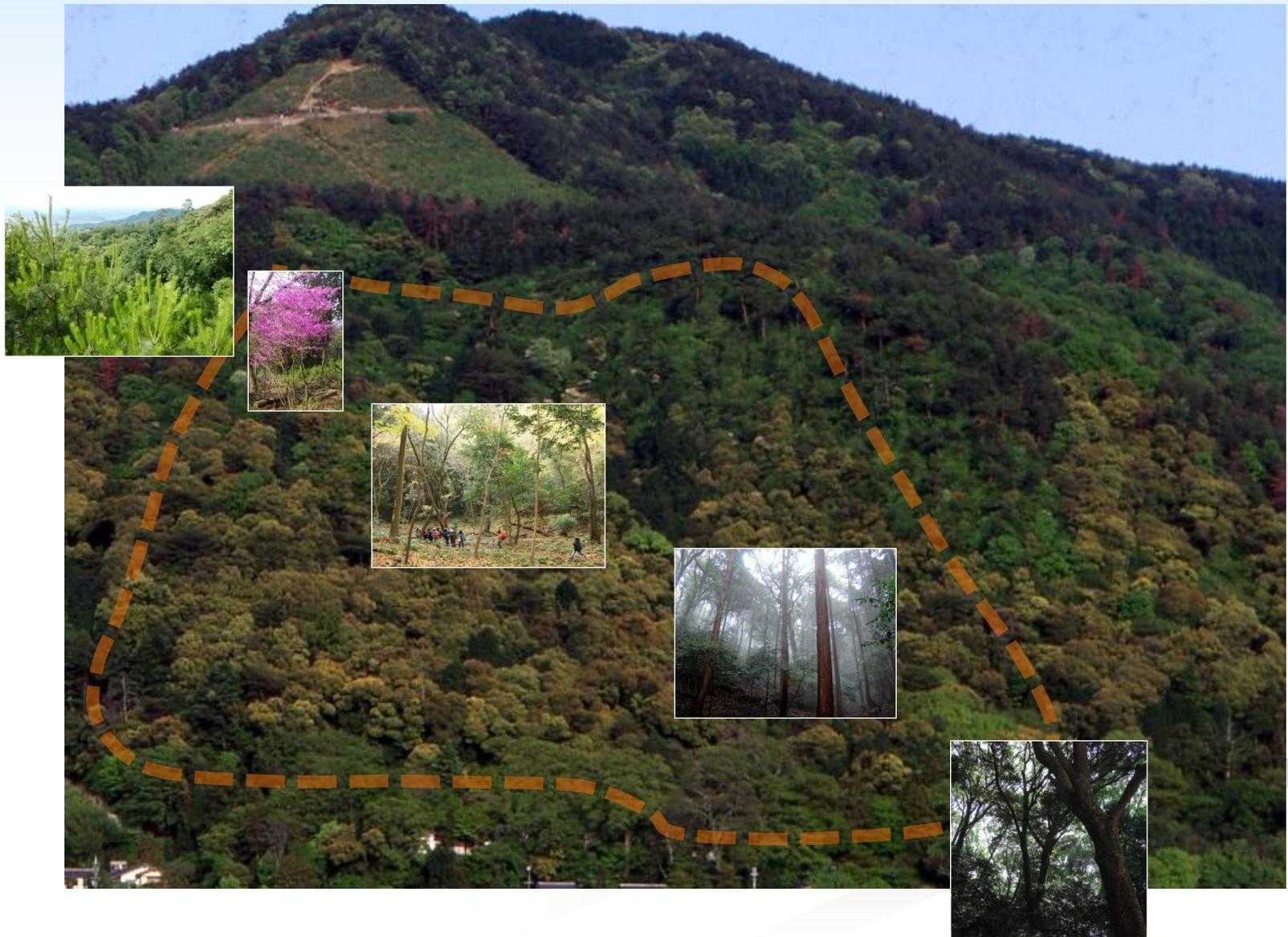


里山文庫 ワークルーム

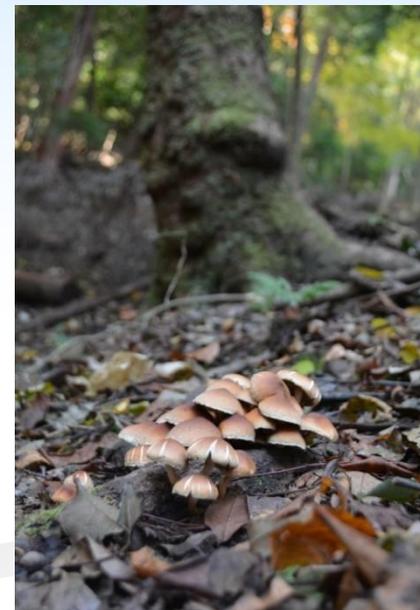


ワークショップ

# 善気山の森(お寺の森)



# 森を育てるきのこ



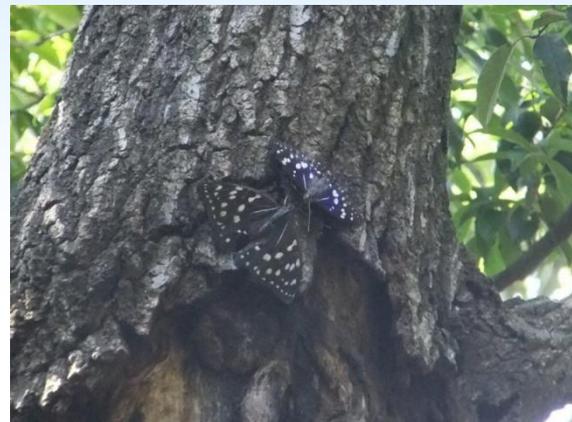
# 多様な植生



# 森で暮らす昆虫



ヤママユ



オオムラサキ 哲学の道保勝会撮影



ヒメカマキリ



オオセンチコガネ

種の保護と生息環境の保全

ナラ枯れやシカの被食圧による森の変化

# 森と水辺で暮らすカエルやヘビたち



！準絶滅危惧種・京都府  
ニホンヒキガエル



モリアオガエル



タゴガエル



シロマダラ



タカチホヘビ

# 渡り鳥も訪れる

留鳥



外来種



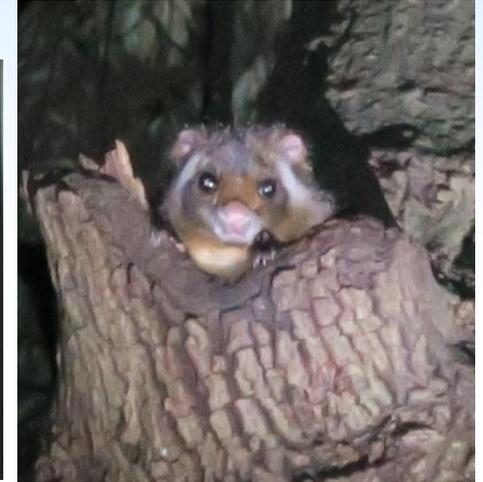
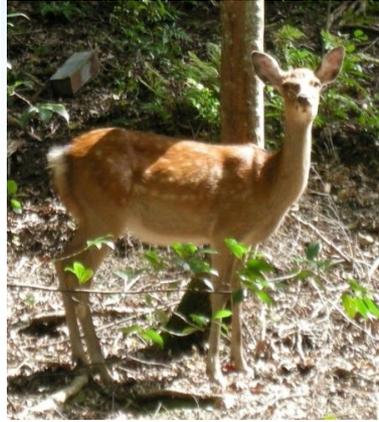
夏鳥



冬鳥



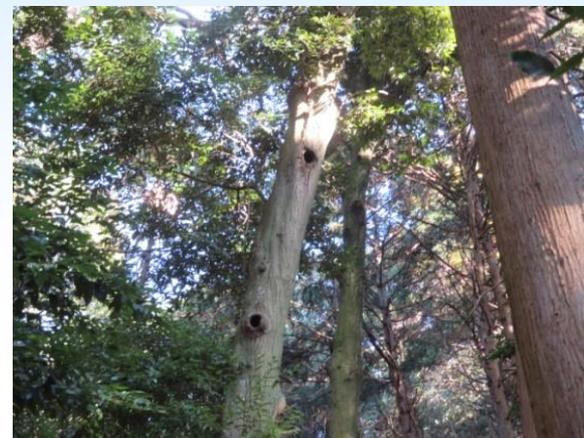
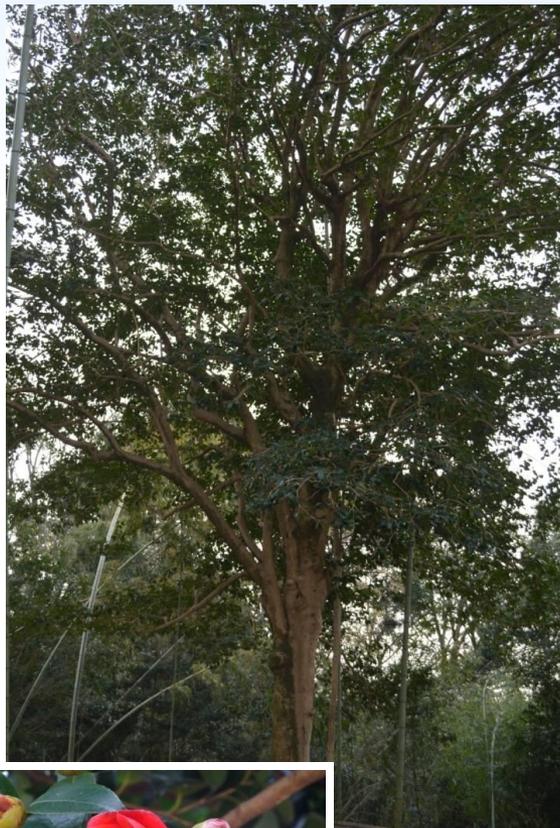
# 森で出会った哺乳動物たち



けもの道を歩く（自動撮影）

# お寺の森の生きものの代表 ムササビ

！準絶滅危惧種・京都府



# 生き続けられる身近な環境

森



水辺



山門



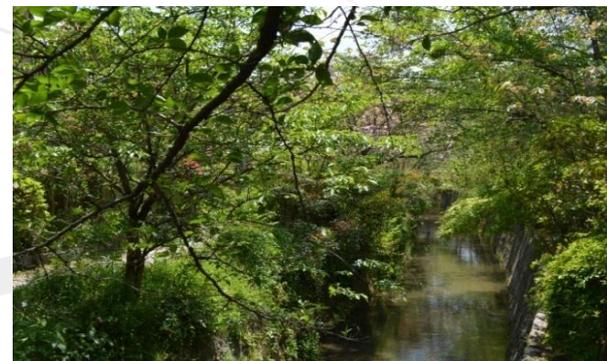
屋根



石垣



つながり



# 共存の場・哲学の道(琵琶湖疏水分線)



！準絶滅危惧種・京都府・環境省  
キマダラルリツバメ



ハリフトシリアゲアリ  
京都府HPより



！京都市指定・登録  
天然記念物  
ゲンジボタル

# 生物多様性を支えるもの

## 生態系・種・遺伝子の多様性への配慮

### ■ 生息環境の保全

- ・多様性に富む森林とその連続性の保全
- ・自然災害からの回復 ・表土流失の回避

### ■ 種や遺伝子の多様性の保全

- ・エコトーンの維持 ・希少種への配慮
- ・種の均等性の維持 ・外来種の侵入防止
- ・シカによる被食圧の低減 など

# 水場を訪れた生きものたち



# 森への脅威



シカ食害



ナラ枯れ



マツ枯れ

# 森への脅威(台風被害)



台風21号 (2018. 9. 4)  
山門前参道



室戸台風 (1934. 9. 21)  
山門前参道



倒木箇所 (ギャップ)

# 市民活動としての森づくり

## 目標

景観保全  
生物多様性の保護  
バイオマス生産  
環境教育  
天然林への誘導  
伝統文化の継承



## 成果

森づくりのプラン策定  
専門家との協働  
観察のための森づくり

## 課題

間伐材等の利用  
要員と財源の確保  
技術、知識の向上

# 観察の森づくり



森の手入れ 観察路整備、植樹



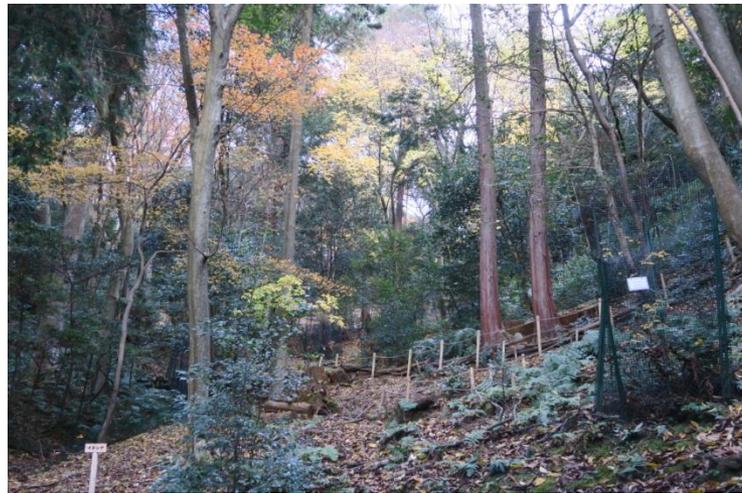
柴刈り体験



樹木名札



防鹿柵（ネット）



観察の森

# 森の子クラブ



きのこ調べ



樹木の観察



森の手入れの話



野鳥観察



水辺の観察



森の手入れ

# 会報・教材・出版物

